

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.185

岩室村の人口

(7月31日現在) 前月対比

男	4,370人	(+8)
女	4,806人	(-1)
計	9,176人	(+7)
世帯数	2,174世帯	(-1)

(住民基本台帳による)

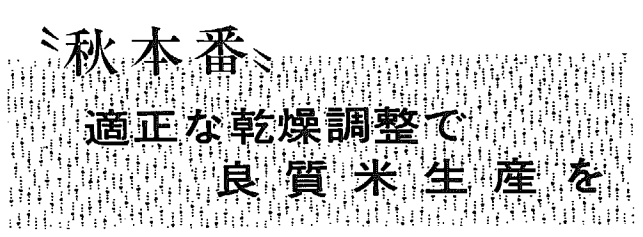


秋本番、 適正な乾燥調整で 良質米生産を

今年、稲の生育状況は初期生育時に変動気象であったが、七月以降高温多照と全般的に順調な作柄であります。

一時日照り続きのため大干ばつの被害も予想されましたが、八月上旬の断続的な降雨により、しおれかけた稲も完全に回復し、出穂期も平年よりやや早目で各地とも「やや良」から「良」と豊作型ということです。

これからは良質米生産のため最後の仕上げ段階です。乾燥調整には充分気をつけて水分一五〇程度の乾燥とし、胴割れ米を防ぐ



ためにも適正な使用方法を心がけて下さい。

また、調整選別でも肌ずれ米を出さないようにロール間隔・回転数を適正に調整して下さい。

稲わらは

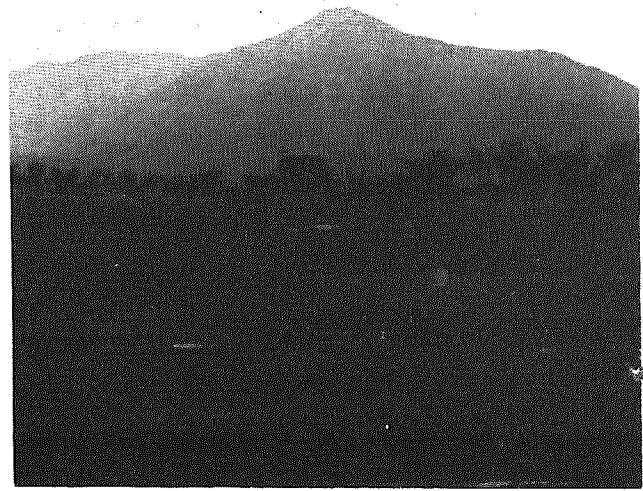
圃場へ還元へ

節し、収穫後においても翌年の良質米多収のための「土づくり」を実施して下さい。

我が国のような限られた農用地で食糧自給力の向上

を図るためには、各地域の実情や土壌の性質に応じた地力培養を図りましょう。

稲わらにおいても近年兼業化・自脱型コンバインの



普及ではざ木が不用化し、重要な副産物である稲わらは焼却するようになり地力は減退している現状にあります。

農業は「土」の上に営ま

れる産業であり堆きゆう肥等有機物及び土壌改良資材の計画的且つ適正施用は、変動気象下でも収量・品質等安定した作物生産の基本であり、岩室村でも「稲わら焼却防止運動」及び「土づくり運動」を推進するため今年も堆肥半の半額補助を行います。

近日中に回覧が回りますので希望者は申込み下さい。

豊かな土づくりのためにも稲わらは焼却せずに圃場へ還元しましょう。

9月21日～9月30日

秋の全国交通安全運動

次のことを重点に実施されます
ご協力ください。

1. 歩行者、自転車利用者、特に子どもと老人の事故防止
2. シートベルト着用の推進
3. 夜間における交通事故防止

モミ乾燥機に注意

秋の農繁期になりますと毎年各地で乾燥機等による火災が発生しております。

次のことに十分注意してください。

- 一、使用前には、必ず乾燥機の点検を行う。
- 二、使用中は監視を怠らず留守にするとときは止める。
- 三、万一の場合に備えて乾燥機の近くに消火器を置く。